

業務用キャベツの定時定量出荷が可能に

在ほ性に優れる品種を利用した収穫時期の安定化技術

オススメする方

農家、土地利用型経営体、JA等集出荷組織

成果の内容・特徴

- ① 品種「夢ごろも」は、収穫できる状態を長く維持できる性質（在ほ性）に優れていることがわかりました。
- ② 収穫時期の変動を抑えるため、早めに定植して生育量を確保し、在ほ性を利用して望む時期に収穫できる手法を開発しました。
- ③ 「夢ごろも」の8/25頃および9/5頃定植を組み合わせると、12月下旬～4月上旬に常時収穫可能な状態を実現できます。

写真、具体的データ



写真 品種「夢ごろも」は収穫できる状態のまま長もちします。

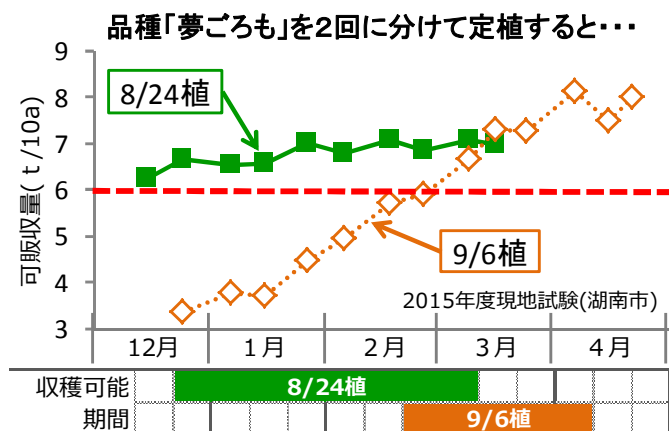


図 12月下旬～4月上旬に常時収穫が可能となり、望む時期(契約した時期)に出荷ができます。

＜お問い合わせ先＞滋賀県農業技術振興センター

栽培研究部 野菜係 電話：0748－46－3083 E-MAIL：gc57300@pref.shiga.lg.jp

＜詳細な技術情報＞

農業技術振興センター主要研究成果 http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo/k_seika/index.html